

資料3

1 ページ

令和4年度 盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料3

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和4年度の主な取組実績(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成数(R1以降の累計) H30:5,867人 → R1:5,478人 →R2:9,181人 → R3:11,985人 →R4:10,800人(AP目標値) ・認知症カフェ設置市町数(累計) H30:6市町 → R1:7市町 → R2:7市町 →R3:8市町 → R4:8市町(AP目標値) ・障がい者就業・生活支援センター 支援対象者の就職率 H30:13%→R1:8.8% →R2:12.5% →R3:14.1% →R4:18%(AP目標値) ・ひとにやさしい駐車場利用証制度 駐車区画数(累計) H30:447区画→R1:467区画 →R2:468区画 →R3:480区画 →R4:502区画(AP目標値) ・生活困窮者自立支援制度新規 相談件数のうちプランを作成した割合 H30:25%→R1:18% →R2:28.7% →R3:19.0% →32%(AP目標値) ・ワーキングインクルージョンの 推進に係るネットワーク会議に 参加する民間事業所等の数(累計) H30:—→R1:4箇所→R2:7箇所 →R3:9箇所 →R4:15箇所(AP目標値) 	<p>③ あらゆる世代のみんながいきいきと暮らす地域づくりの推進</p> <p>ア 高度急性期から在宅医療・福祉が提供される体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盛岡圏域医療連携推進(地域医療構想調整)会議の準備のため、医療機関に異動等に伴う連携推進会議委員を照会、外来医療計画、病院機能再編支援給付金を照会 ・衛星電話連絡訓練の実施(9/16) <p>イ 保健・医療・福祉が連携した地域包括ケア体制の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管内市町〔岩手町・八幡平市・葛巻町・盛岡北部行政事務組合〕と意見交換会を開催(9/9) ・在宅医療介護連携圏域会議事業について、紫波郡医師会と委託契約締結 <p>ウ 医療と福祉の人材育成・確保の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生を対象とした「医療介護出前講座」を5校(盛岡市4校、岩手町1校)で実施(6月～7月、参加者数654名) ・生活困窮者自立支援事業の学習支援に参加している中学生等に対し、医師、看護師、介護福祉士に係る奨学金制度リーフレットを提供 ・介護職の負担軽減を目的とするアシストスーツ貸出事業の事業実施要領の作成 <p>エ 障がい者を地域の人みんなで支える包括的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盛岡広域圏自立支援協議会就労支援分科会への参加(5/16) ・ひとにやさしい駐車場利用証の発行数257件(4～9月)、ヘルプマーク交付件数188件(4～9月) <p>オ 生活困窮者自立支援事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各町支援調整会議(12回 紫波町書面5/16、6/20、7/19、8/22、矢巾町書面5/17、6/7、7/5、岩手町6/30、雫石町書面6/2) ・矢巾町重層的支援体制整備事業推進会議(1回目:7/27) ・矢巾町重層的支援体制整備個別支援会議(2回目:7/4、9/6) ・生活困窮者自立支援事業担当者会議(4月中止) 	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>△</p>	<p>一部の会議をBCPにより中止</p>

令和4年度 盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料3

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和4年度の主な取組実績(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚サポートセンター入会登録者数(累計) H30: 766人→R1: 1,036人 →R2: 1,140人 →R3: 1,305人→R4: 2,016人(AP目標値) ・子育て世代包括支援センター設置市町数(市町)(累計) H30: 1市町→R1: 4市町 →R2: 8市町 →R3: 8市町 →R4: 8市町(AP目標値) ・放課後児童クラブ設置数(毎年度5月1日時点のクラブ数)(累計) H30: 118箇所→R1: 124箇所 →R2: 131箇所→R3: 138箇所 →R4: 133箇所(AP目標値) 	<p>④ 安心して子どもを生み育てられる環境づくりの推進</p> <p>ア 妊娠期から子育て期まで切れ目のない子育ての支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生講習会(4/20、5/25、6/22、7/22、8/24、9/21)、企業訪問(5/25)時に周知 ・市町の子ども・子育て会議への参加(紫波町6/1) ・盛岡管内市町子育て支援担当者連絡会議の開催(7/29) <p>イ 児童虐待の発生予防・早期対応と特別な支援を要する子どもの療育支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町の要保護児童対策地域協議会等を欠席(4～9月) <p>ウ 子どもの貧困対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習会の開催(のべ101回開催、8月末 現在 80人参加) (矢巾町 29回、紫波町14回、雫石町14回、岩手町29回、葛巻町15回) ・こども食堂との連携による居場所づくり: 紫波町たんぽぽ食堂との連携(のべ3回)、食料支援(5市町 のべ48回) ・中高生への医療・福祉分野修学資金制度活用による進学就職支援等について周知(9月) <p>エ 企業等における子育て環境整備の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわて子育てにやさしい企業認証 累計認証数123件(9月末) ・事業所への周知: 食品衛生講習会(4/20、5/25、6/22、7/22、8/24、9/21)、企業訪問(2社・5/25) 	<p>○</p> <p>×</p> <p>○</p> <p>○</p>	BCPIによる遅れ
1 生きがいに満ち、健康で安心して生活し続けることができる絆の強い地域社会をつくります (2) 文化スポーツ	<p>文化芸術コーディネーターの活動件数(2019年からの累計) H30: 68件 →R1: 123件 →R2: 343件 →R3: 521件→R4: 688件(AP目標値)</p> <p>・若者関連文化イベント来場者数(累計) H30: 123人 →R1: 145人→R2: 474人 →R3: 2,875人→R4: 800人(AP目標値)</p> <p>・総合型地域スポーツクラブ会員数 H30: 2,195人 →R1: 2,744人→R2: 2,503人 →R3: 2,494人→R4: 2,750人(AP目標値)</p> <p>・スポーツ施設入場者数 H30: 3,115千人(H29値) →R1: 3,213千人→R2: 1,829千人 →R3: 1,560千人→R4: 3,276人千人(AP目標値)</p>	<p>① 地域の特色や人材等を活用した文化芸術活動の推進</p> <p>ア 文化芸術コーディネーターと連携した活動支援</p> <p>(ア) 文化芸術コーディネーターによる文化芸術活動に係る相談対応、助言(活動件数[4～9月]: 139件)</p> <p>(イ) 文化芸術活動支援ネットワーク会議への参画(第1回: 7/14開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーティスト・イン・レジデンス研修会の実施(8/29開催) ・伝統文化をつなぐ岩手・盛岡実行委員会への参画 <p>② 文化をめぐる新しい動向に対応した取組の推進や観光分野などへの活用</p> <p>ア 盛岡国際俳句大会実行委員会等への参画</p> <p>盛岡国際俳句大会実行委員会(5/20、9/30)及び全国高校生短歌大会実行委員会(5/17)・運営委員会(5/23)に委員として参画</p> <p>イ 日本スポーツマスターズ2022岩手大会等の機会を捉え、おもてなし企画として、伝統芸能の発表の場の創出と地域の魅力を発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本スポーツマスターズ2022岩手大会: (9/22実施) JR盛岡駅新幹線改札内コンコースでさんさ踊り、ノベルティ配布等 ・盛岡広域観光・物産フェアでの盛岡さんさ踊り準備(イオンモール新利府 10/1～2) <p>③ 生涯スポーツの普及啓発及び推進体制の強化</p> <p>ア 日本スポーツマスターズ2022岩手大会等の情報発信によるスポーツに対する関心の高揚</p> <p>庁内にのぼり掲揚による盛り上げ等の実施</p> <p>イ サイクルツーリズムの推進</p> <p>(ア) サイクルツーリズム会議の開催(6/24)</p> <p>(イ) 広域サイクルルートの造成(下半期)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	

資料3

4 ページ

資料3

5 ページ

令和4年度 盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料3

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和4年度の主な取組実績(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	・砂防施設の完成箇所数(箇所) (累計) H30: 1箇所→R1: 2箇所 →R2: 3箇所→R3: 4箇所 →R4: 5箇所(AP目標値)	ウ 砂防施設や急傾斜地崩壊対策施設の整備 (ア) 民部田の沢(2)(岩手町): 予備設計を推進。【新規】 (イ) 高森の沢(滝沢市): 井戸等の水文調査を4月に、用地測量、補償調査を7月に業務委託契約済み。 (ウ) 上鶴飼の沢(滝沢市): 用地測量、補償調査を8月に委託業務契約済み。 (エ) 平笠東沢(八幡平市): 管理用道路工(工事用道路兼用)を推進、砂防堰堤工に着手。 (オ) スキー場南沢(八幡平市): 用地補償を推進、工事用道路工、付替道路工に着手。 (カ) 屋敷沢(八幡平市): 詳細設計を推進。【新規】 (キ) 白山の沢(滝沢市): 詳細設計を8月に業務委託契約済み。	(ア) ○ (イ) ○ (ウ) ○ (エ) ○ (オ) ○ (カ) ○ (キ) ○	
	・急傾斜地崩壊対策施設の完成箇所数(箇所) (累計) H30: — →R1: 1箇所→R2: 1箇所 →R3: 2箇所→R4: 2箇所(AP目標値)	(ク) 山岸地区(盛岡市): 市有地工区の用地測量、補償調査7月に業務委託契約済み。 (ケ) 桜山地区(盛岡市): R4.3工事契約により仮設工及び法面工事に着手。	(ク) ○ (ケ) ○	
	・緊急輸送道路等における耐震化の完了橋梁数(橋)(累計) H30: — →R1: 1橋→R2: 3橋→R3: 5橋 →R4: 5橋(AP目標値)	② 地震に強い社会資本の整備 ア 緊急輸送道路等の橋梁耐震補強の推進 夕顔瀬橋(盛岡市): 補強調査設計を推進: 9月発注	○	
	・木造住宅の耐震診断戸数(戸) (累計) H30: 1,310戸→R1: 1,336戸 →R2: 1,355戸→R3: 1,380戸 →R4: 1,430戸(AP目標値) ・木造住宅の耐震改修戸数(戸) (累計) H30: 104戸→R1: 105戸 →R2: 107戸→R3: 108戸 →R4: 125戸(AP目標値)	イ 既存木造住宅の耐震診断や耐震改修の促進 耐震促進運動月間(10月)にあわせ管内市町と連携し、広報活動と戸別訪問を実施: 10月実施予定 取組予定 盛岡市、八幡平市、矢巾町: 戸別訪問(市町単独) その他の市町: 広報配布時等チラシ配布、行政区回覧等で周知	—	
	・土砂災害危険箇所の合同パトロール実施回数(市町/年) H30: 8市町→R1: 8市町 →R2: 8市町→R3: 8市町 →R3: 8市町(AP目標値) ・危機管理能力研修会の参加者数 H30: 実施見送り →R1: 33人→R2: 9人→R3: 40人 →R4: 40人(AP目標値) ・高病原性鳥インフルエンザ等発生時対応研修会・訓練の参加者数 H30: 147人 →R1: 162人→R2: 37人→R3: 180人 →R4: 140人(AP目標値)	③ 市町、関係団体、地域住民との連携による防災対応 ア 土砂災害警戒時における速やかな避難体制の構築 6月の土砂災害防止月間に合わせて管内市町、関係機関と土砂災害危険箇所のパトロールを実施済み。 盛岡市(6/27)、滝沢市(6/6)、雫石町(6/21)、矢巾町(5/24)、紫波町(6/1) 岩手町(6/2)、八幡平市(6/28)、葛巻町(6/29) イ 盛岡広域首長懇談会事務検討会議自然対策部会出席予定 ウ 職員の危機管理対応能力向上のための取組 (ア) 火山災害に関する研修会を11月に実施予定 (イ) 高病原性鳥インフルエンザ等発生時対応研修会・訓練の開催 ⑦ 新任者等研修を7月に開催。23名参加 ⑧ 中央家保と調整し、机上訓練等を11月に実施	○ — ○	

令和4年度 盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料3

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和4年度の主な取組実績(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	・土砂災害危険箇所の基礎調査に基づく住民説明会の実施箇所数(箇所) (累計) H30:1,110箇所→R1:1,338箇所 →R2:1,550箇所→R3:1,653箇所 →R4:1,602箇所(AP目標値)	④ 災害関連情報の充実強化 ア 水位周知河川や洪水浸水想定区域の指定 各河川について河川課で洪水浸水想定区域指定等の業務委託を実施。 イ 土砂災害警戒区域等の指定とその周知 盛岡土木管内市町:2巡目点検による土砂災害警戒区域等の見直し作業を実施中。 岩手土木管内市町:2巡目基礎調査を推進。	ア ○ イ ○	
5 安心・快適な都市環境・生活環境をつくれます	・交通混雑が緩和される街路完了工区(工区)(累計) H30:ー →R1:1工区 →R2:1工区→R3:2工区 →R4:3工区(AP目標値)	① 高次都市機能の充実 ア 市街地の円滑な交通の確保 (ア) 杜の大橋(盛岡市):橋梁上部工工事を推進、工事用道路追加借地契約済(10/1～) (イ) 鵜飼八人打(滝沢市):道路改良工事を推進(改良工事契約済み)、用補残件1件継続交渉中 (ウ) 徳田橋(盛岡市・矢巾町):上部工、道路改良工を推進(上部工5月に桁閉合、盛岡側改良工事契約済み)	ア (ア) ○ (イ) ○ (ウ) ○	
	・岩手医科大学附属病院へのアクセス道路完了工区(工区)(累計) H30:ー →R1:ー工区 →R2:0工区→R3:1工区 →R4:1工区(AP目標値)	イ 岩手医科大学附属病院へのアクセス向上 徳田橋(再掲)	イ ○	
	・高齢化社会に対応した県営住宅の建替え・改善戸数(戸)(累計) H30:82戸→R1:106戸 →R2:106戸→R3:180戸 →R4:216戸(AP目標値)	ウ 高齢化社会に対応した県営住宅の建替え・改善の推進 ・県営青山アパートエレベーター改修工事:設計業務完了、工事発注手続中 (岩手県公営住宅等長寿命化計画R4.3改訂により、松園東アパート工事36戸取りやめ、青山アパート工事48戸に変更)	ウ ○	
		③ ユニバーサルデザイン・景観に配慮したまちづくりの推進 ア 良好な景観の形成や違反屋外広告物の是非指導等 違反屋外広告物パトロール回数 33回 違反広告物指導件数 0件 是正(許可・撤去)件数 0件 イ ユニバーサルデザイン、景観形成、ひとにやさしい住宅・建設物の整備促進や普及啓発に取り組む関係期間等の活動支援 景観条例届出等指導 21件、ひとにやさしいまちづくり条例協議等指導 4件(R4.4月～6月末届出分) 景観条例届出等指導 18件、ひとにやさしいまちづくり条例協議等指導 5件(R4.7月～9月末届出分) 「多言語対応路上工事看板デザイン集」活用(3④ウ再掲) 「多言語対応路上工事看板デザイン集」をHPや(一社)岩手県建設業協会盛岡支部を通じて工事関係企業に周知するほか、チラシを道路占用者(電力、NTT等)に配布し、工事での多言語対応路上工事看板設置を促進。 (実績4件)	ア ○ イ ○	

令和4年度 盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料3

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和4年度の主な取組実績(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	・歩道整備事業完了工区(工区) (累計) H30:ー →R1:1工区 →R2:2工区→R3:3工区 →R4:7工区(AP目標値)	④ 安心・安全な歩行空間及び自転車通行空間の確保 ア 歩道整備や歩行空間確保の推進 (ア) 好摩(盛岡市):歩道整備を推進:5月完成 (イ) 大更(八幡平市):用地補償及び歩道整備を推進 (ウ) 星山(紫波町):改良工事を推進(国道部改良工事発注済み) (エ) 鵜飼八人打(5①再掲) (オ) 下鵜飼(滝沢市):R4供用開始済み、道路台帳整備の推進 イ 自転車通行空間を確保し、歩行空間との分離 「盛岡市自転車ネットワーク計画」該当区間の県管理道路の主要地方道盛岡停車場線、一般県道上盛岡停車場線(=本町通三丁目交差点:盛岡税務署入り口交差点~七十七銀行間)について、自転車通行帯の明示を推進:4月完成	ア (ア) ○ (イ) ○ (ウ) ○ (エ) ○ (オ) ○ イ ○	
		⑤ 汚水処理施設の計画的な整備 ア 公共下水道、農業集落排水、浄化槽の整備推進 4月に市町が実施する下水道、農業集落排水、浄化槽事業の補助金交付事務を実施(市町において4月~R5.3月まで実施)	ア ○	
	・早期に修繕が必要な橋梁の対策完了数(橋)(累計) H30:ー →R1:3橋 →R2:9橋→R3:15橋 →R4:21橋(AP目標値)	⑥ 社会資本の計画的な維持管理 ア 過去に整備された橋梁の長寿命化の推進 (ア) 中の橋(盛岡市):補修工(主桁、支承等)を推進 (イ) 析沢橋(盛岡市):補修工(主桁、支承等)を推進 (ウ) みつや橋(盛岡市):補修工(主塔、支承等)を推進:5月完成 (エ) 諸葛橋(盛岡市):補修工(主桁、支承等)を推進 (オ) 都南大橋(盛岡市):補修工(防護柵等)を推進:9月完成 (カ) 新田町跨線橋(盛岡市):補修工(主桁、支承等)を推進 (キ) 大橋側道橋(盛岡市):補修工(床版等)発注準備を推進 (ク) 湯沢歩道橋(盛岡市):補修工(階段等)を推進:9月発注 (ケ) 安庭橋(雫石町):補修工(主桁、支承等)発注準備(積算)を推進 (コ) 滝の上橋(雫石町):補修工(防護柵、下部工等)発注準備を推進 (サ) 機織橋(紫波町):補修工(床版、下部工等)を推進:9月発注 (シ) 白根沢橋(矢巾町):補修工(主桁、支承等)発注準備を推進 (ス) 館市橋(八幡平市):補修工(橋脚、床版等)を推進 (セ) 小田橋(葛巻町):補修工(橋梁塗装、床版等)に着手【新規】 (ソ) R5以降補修予定橋梁の調査設計を実施:8月発注	ア (ア) ○ (イ) ○ (ウ) ○ (エ) ○ (オ) ○ (カ) ○ (キ) × (ク) ○ (コ) ○ (サ) ○ (シ) ○ (ス) ○ (セ) ○ (ソ) ○	(キ)9月の入札が不調となり、事務手続き等により再度入札に日数を要することから、工事完了が3カ月遅延する見込みである。R5.3月→6月完成予定
	・県管理河川・道路の草刈実施ボランティア数(団体) H30:44団体→R1:49団体 →R2:56団体→R3:57団体 →R4:44団体(AP目標値)	イ 河川・道路愛護団体や地域住民との協働による維持管理の推進 地域住民との協働による県管理河川・道路の草刈 県管理河川の草刈委託(6月まで着手):盛岡土木:盛岡市(7団体)、滝沢市(1団体)、雫石町(2団体)、紫波町(2団体) 岩手土木:八幡平市(8団体)、岩手町(1団体)、葛巻町(1団体) 県管理道路の草刈委託(6月まで着手):盛岡土木:盛岡市(5団体)、雫石町(3団体)、紫波町(13団体)、矢巾町(6団体)、9月完了 岩手土木:八幡平市(4団体)、葛巻町(3団体)	イ ○	

令和4年度 盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料3

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和4年度の主な取組実績(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	・建設業の担い手育成・確保	ウ 建設業の担い手育成・確保対策の推進 (ア) 発注者指定型での工事発注(盛岡:3件、岩手0件) それ以外も対象工種を含む工事は原則受注者希望型で発注(盛岡:28件中10件、岩手:3件中1件) (イ) 原則として全ての工事を週休2日工事の対象として発注(盛岡:28件中28件、岩手:3件中2件) (ウ) 実施予定9校中7校実施(安代中7/7、玉山中7/8、米内中8/24、柳沢中9/5、滝沢中9/6、下小路中9/8、一本木中9/30) (エ) 女性入職希望者と女性技術者の意見交換会開催 (オ) 岩手大学大学院修士課程 地域創生専攻社会基盤・環境工学プログラム1年生を対象に出前授業を開催(7/21) (カ) 盛岡工業高校合同就職説明会(4/28)において、建設業PR動画の上映とチラシの配布により情報発信を実施	(ア) ○ (イ) ○ (ウ) ○ (エ) — (オ) ○ (カ) ○	
	・HACCP導入に関する講習会の受講者数(人)(累計) H30:327人 →R1:684人 →R2:1,075人 →R3:集計中 →R4:2,015人(AP目標値)	⑦ 食の安全・安心の推進 ・HACCPワークショップの開催 ・食品衛生講習会等におけるHACCPに沿った衛生管理の普及啓発 ア 衛生講習会の開催:13回開催(参加者:241名) イ 日本スポーツマスターズ2022岩手大会に係る食品関連施設監視:8施設	○	
6 産学官金連携によるIT産業の育成やものづくり産業の振興に取り組めます	・企業立地セミナーの参加者数 H30:110人 → R1:125人 → R2:—(参考:視聴数2,532回) → R3:中止 → R4:160人(AP目標値) ・企業誘致関連イベントブースへの来訪者数 H30:114人 → R1:130人 → R2:65人 → R3:中止 →R4:120人(AP目標値) ・新規立地・増設企業数(R1からの累計) H30:3件→ R1:3件 →R2:10件→ R3:15件→R4:16件(AP目標値)	① 企業集積の推進 ア 盛岡広域産業成長促進協議会による立地促進に係る活動支援 ・6/6 盛岡広域産業成長推進協議会設立総会 ・7/7 在京盛岡広域産業人会総会・セミナー開催(主担当:盛岡市) イ 地域未来投資促進法岩手県基本計画に基づく、管内事業者の地域経済牽引事業計画策定の支援 ・企業訪問の中で、適宜事業者に対し牽引事業計画策定を促している。	ア ○ イ ○	

令和4年度 盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料3

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和4年度の主な取組実績(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	<p>・組込みソフトウェア技術者等養成数 H30:178人 →R1:148人→ R2:136人 → R3:集計中→R4:184人(AP目標値)</p> <p>・学生等を対象としたキャリア教育への講師派遣件数 H30:6件 →R1:9件→ R2:10件 →R3:8件→R4:7件(AP目標値)</p> <p>・企業ガイドブック掲載企業数(累計) H30:— → R1:41社 →R2:95社 →R3:176社→R4:130社(AP目標値)</p>	<p>② 地域産業を支える人材の育成確保</p> <p>ア 新卒人材と県内企業のマッチング支援及びキャリア教育支援【広域】 (ア) 学生、教員等とIT関連企業の交流研修会(いわて業界研究セミナー)に係る関係者協議 (イ) 学生等への地域を志向したキャリア教育の実施に向けた講師選定、企業との調整【広域】 (ウ) きたかみ・かねがさきテクノメッセ(9/30)への管内高校(盛岡工業高1年241人、雫石高2年28人)参加支援(バス手配、バス代負担)【地経費】</p> <p>イ 企業ガイドブックの作成【広域】 (ア) 企業ガイドブックの更新、HPへの掲載済み(3月)、「シゴトバクラシバいわて」へリンク(7/15) (イ) 企業ガイドブックの作成中止 (ウ) SNSによる就職イベント等の情報発信</p> <p>ウ ものづくり人材育成(工場見学等) ・不來方高校を対象とした出前授業実施に向けた調整(打ち合わせを計2回実施) ・紫波総合高校を対象とした工場見学実施に向けた調整(打ち合わせを計3回実施)</p> <p>エ 県内就業・キャリア教育コーディネーターによる企業及び学校等への情報提供 ・県内就業・キャリアCDIによる企業及び学校等の情報収集・情報提供を実施。</p> <p>オ 中堅人材(経験者)のネットワークづくり【広域】 ・7/7 在京盛岡広域産業人会総会・セミナー開催(主担当:盛岡市)</p>	<p>ア ○ イ △ ウ ○ エ ○ オ ○</p>	<p>・企業ガイドブックは、高校生や学校において企業情報を収集するツールとして活用していないこと、雇用開発協会など他の雇用対策機関において同様のものが作成されていることから、作成を中止し、より効果的に県内企業のPRや県内就業の推進に繋がる取組にシフトしていく。</p>
	<p>・企業訪問件数 H30:44件 →R1:206件 →R2:202件 →R3:集計中→R4:200件(AP目標値)</p> <p>・県内企業間のマッチング件数 H30:— → R1:3件 →R2:2件 →R3:1件→R4:3件(AP目標値)</p> <p>・経営革新計画承認数(累計) H30:207件 →R1:228件→ R2:227件 →R3:269件→R4:290件(AP目標値)</p>	<p>③ IT・ものづくり産業の幅広い産業分野への参入促進、起業・創業の推進</p> <p>ア IT・ものづくり産業の振興 ・5/26 岩手もりおか学生デジコン実行委員会設立総会 ・6月 岩手もりおか学生デジコン情報発信 (Twitter投稿、岩手県学生会館、アイーナ等へのポスター掲示及びリーフレット配架) ・岩手もりおか学生デジコン参加チーム:47チーム(R3:46チーム) (県大14、大原10、産技短7、岩大6、一関高専3、八戸高専3、盛ビジ2、宮短1) ・9/16 展示会等出展支援事業費補助金公募開始(9/16～1/17、予算4社分)※9月末現在1者から申請 ・企業訪問</p> <p>イ スマート農業技術等の導入による農作業の効率化(果樹栽培における軽労化機会の実装) ・屋外搬送用ロボット(TakiRoboG1)実証試験1回目(9/14、紫波町)、現地見学会(9/16、紫波町、12名)</p> <p>ウ 経営革新計画に係る事業活動の支援 ・経営革新計画(承認前)のブラッシュアップ2件、評価委員会への付議2件 ・企業訪問調査2件(麴屋もとみや、ミドリアパレル中央(株))</p>	<p>ア ○ イ ○ ウ ○</p>	

令和4年度 盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料3

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和4年度の主な取組実績(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
7 観光・食・スポーツを連携させた交流促進により地域産業を活性化します (1)観光産業	・地域で取り組む観光素材開発等の促進件数 H30:0件 →R1:3件 →R2:8件 →R3:2件 →R4:9件(AP目標値)	① 魅力ある観光地づくりと観光客受入環境の向上 ア 広域連携による誘客イベント等の開催 (ア)「鹿角・盛岡広域エリア巡ってお得観光パスポート」発行(利用期間7/1～11/3) (イ)・雫石・田沢湖・角館エリアスタンプラリー事業の内容検討(幹事会、総会) ・参加店舗の掘り起こしと提供商品のブラッシュアップ イ 地域資源を活用した誘客促進 (ア)盛岡広域エリア・花巻・二戸・宮古エリア酒蔵めぐりスタンプラリー開始(8/1～10/31) (イ)・酒蔵めぐりツアー「城下町盛岡の酒蔵と岩泉龍泉洞八重桜秋あがり」催行(9/25・参加者13人) ・酒蔵めぐりツアー「岩手オータムワイナリー&ファームツアー2DAYS」(10/1～2・催行中止決定9/26) (ウ)「食べて応援！飲んで応援！盛岡広域8市町グルメ&お酒SNSキャンペーン2022」開催(9/1～12/31) ウ 国内教育旅行の誘致促進 (ア)・盛岡広域SDGs教育旅行誘致促進事業キックオフセミナー(8/8) 39名参加(オンライン含む) ・盛岡広域SDGs教育旅行誘致促進事業第1回ワークショップ(9/22)21名参加(オンライン含む) (イ)・岩手県教育旅行誘致説明会(札幌会場)参加(8/10) ・岩手県教育旅行誘致説明会(東京会場)参加(8/25)	ア (ア)○ (イ)○ イ (ア)○ (イ)○ (ウ)○ ウ (ア)○ (イ)○	
	・SNSを活用したファン数(累計) H30:5,275人 →R1:5,561人 →R2:6,531人 →R3:7,305人 →R4:8,209人(AP目標値)	② 効果的な情報発信による誘客の促進 ア 都市圏からの誘客拡大に向けた情報発信 (ア)・東京都北区北マルシェにおける盛岡広域観光物産フェアの開催(7/23,24) ・イオンモール新利府での盛岡広域観光物産フェアの開催(10/1,2) (イ)・VSベガルタ仙台戦(7/16)活動中止 ・VSブラウブリッツ秋田戦(8/13)活動中止 イ 盛岡局公式ツイッター等によるタイムリーな情報発信 ・管内のイベント等の情報発信 ・フォロワー数:7,622人(R4.10.7時点) ※昨年同月フォロワー数:6,980人	ア (ア)○ (イ)△ イ○	悪天候による中止
	・県央圏域での外国人観光客入込数 H30:170千人回 →R1:239千人回 →R2:61千人回 →R3:5千人回 →R3:245千人回(AP目標値) ・外国人観光客の受入環境整備に係るセミナーの参加者数(人) H30:0人→R1:99人→R2:実施せず →R3:実施せず →R4:50人(AP目標値)	③ 国際観光の推進 ア 台湾からの訪日教育旅行の誘致促進 (ア)台湾学校10校に対するアンケート調査(9月) (イ)インバウンド受け入れ態勢整備セミナー、食の匠料理伝承セミナーの開催(1月予定) (ウ)日台教育旅行交流会開催日時決定(2/14)、参加について要検討	ア (ア)○ (イ)ー (ウ)ー	
	・スポーツ合宿誘致件数(累計) H30:0件→R1:1件→R2:2件 →R3:2件→R4:4件(AP目標値)	④ スポーツツーリズムの推進 ア サイクルツーリズムの推進(再掲) (ア)サイクルツーリズム会議の開催(6/24) (イ)広域サイクルルートの造成(下半期) イ いわてスポーツコミッション等との連携の下、スポーツ合宿や大会の誘致活動を促進 盛岡広域スポーツコミッションへの参画	○	

令和4年度 盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料3

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和4年度の主な取組実績(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
7 観光・食・スポーツを連携させた交流促進により地域経済を活性化します (2)食産業	・農商工連携プロジェクト件数(累計) H30:11件 →R1:13件→ R2:17件 →R3:17件→R4:15件(AP目標値)	① 食産業・地場産業事業者の経営改善と中核人材の育成 ア 事業者の経営改善 もりおか広域食の商談会・工芸展示商談会出展事業者向けに、専門家を活用した事前セミナーを実施予定(1月) イ 人材育成 ・ 経営革新計画(承認前)のブラッシュアップ2件、評価委員会への付議2件	ア イ○	
	・経営革新計画支援件数 H30:14件 →R1:13件 →R2:13件 →R3:18件 →R4:11件(AP目標値)	② 商品の高付加価値化及び販路拡大の推進 ア 商品の高付加価値化 ・ 経営革新計画承認後のフォローアップ支援(広域振興局による企業訪問調査1件(麴屋もとみや) イ 販路拡大 ・ 食の商談会・工芸展示商談会は1/26(木)、工房見学会は1/27(金)に開催予定。	ア○ イ○	
	・地域内の生産者と飲食店をつなぐ交流イベントなどの平均参加事業者数 H30:32社 →R1:20社→R2:18社 →R3:12件→R4:35件(AP目標値)	③ 県産食材の地産地消促進 ア 関係機関と連携した「もりおか広域食の商談会」の開催(1回、工芸商談会と併催) <②再掲> ・ 食の商談会を1/26(木)に開催予定。	ア○	
	・商談会参加事業者数(累計) H30:21社 →R1:32社→ R2:36社 →R3:43社→R4:40件(AP目標値)	④ 海外への販路拡大に取り組む事業者の支援 ア 台湾への輸出拡大支援 令和4年度裕毛屋物産展(令和5年2月3日(金)～5日(日)) 6社16商品が出展予定 イ 輸出拡大支援 産経課からの海外物産展・商談会情報について、随時管内事業者に情報提供	ア○ イ○	
	・広域連携プロジェクト参加人数(累計) H30:34人 →R1:46人 → R2:46人 →R3:46人→R4:40件(AP目標値)	⑤ 観光等と連携した食産業・地場産業の振興【7①イ(ア)(イ)再掲】 ア 隣接エリア(花巻・二戸・宮古エリア)の酒蔵等と連携した「酒蔵めぐりスタンプラリー」の実施 ・盛岡広域エリア・花巻・二戸・宮古エリア酒蔵めぐりスタンプラリー開始(8/1～10/31) イ 酒蔵めぐりツアーの造成支援 ・酒蔵めぐりツアー「城下町盛岡の酒蔵と岩泉龍泉洞八重桜秋あがり」催行[9/25・参加者13人] ・酒蔵めぐりツアー「岩手オータムワイナリー&ファームツアー2DAYS」[10/1～2・催行中止決定9/26]	ア○ イ○	
8 米・園芸・畜産のバランスがとれた農業の持続的発展と活力のある農村づくりを進めます	・法人経営体数(累計) H30:168経営体 →R1:178経営体→R2:188経営体 →R3:180経営体→R4:198経営体(AP目標値) ・中心経営体等への農地集積面積 H30:30,158ha →R1:31,379ha→R2:31,217ha →R3:30,874ha→R4:33,000ha(AP目標値)	①次世代の地域農業を担う経営体の育成 ア 企業的经营体の育成 (ア) 中心経営体への農地集積・集約化の促進に向けた地域農業マスタープラン(地域計画)実践の推進 ・県農地集積・集約化推進会議にて、地域の取組み計画について協議(4/26)、推進チーム会議への参画(滝沢市:5/20、盛岡:7/22)、地方推進チーム員会議(10/27) (イ) 農地集積・集約化の実現に向けた農地中間管理事業やほ場整備事業等を推進 ・地元事業推進委員会等との意見交換の実施(6地区、計10回) (ウ) 集落営農組織の法人化促進と経営発展に向けた経営力向上講座の開催、個別課題解決支援 ・法人化志向組織の法人化支援(〔盛岡〕1地区+6組織、延べ20回)、集落営農3法人の個別課題解決支援(〔八幡平〕6～7月)、ほ場整備事業実施地区の営農組織設立に向けた支援(戸沢地区、6/16、7/29) (エ) 支援経営体の経営課題解決に向けた個別支援(いわて農業経営相談センターと連携した専門家派遣、補助事業の活用等) ・支援経営体リストの整理(支援経営体:〔盛岡〕28、〔八幡平〕13経営体)、法人化に向けた専門家派遣を2経営体、現地支援チーム会議を市町毎に実施(6月、8回)	(ア) ○ (イ) ○ (ウ) ○ (エ) ○	

令和4年度 盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料3

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和4年度の主な取組実績(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	<p>・新規就農者数(単年度) H30:80人→R1:79人 →R2:74人→R3:68人 →R4:67人(AP目標値)</p> <p>・女性農業者の経営参画割合 H30:34.5%→R1:36% →R2:37.5% → R3:40.0% →R4:39.0%(AP目標値)</p>	<p>イ 担い手の確保・育成</p> <p>(ア) 児童・生徒を対象としたスマート農業学習会の開催、高校生向けスマート農業実践研修会の開催【地経費】 ・研修会等開催準備(5～9月)、小中学生向けスマート農業学習会(10/18予定)、高校生向けスマート農業実践研修会(10/3、11) (イ) 就農希望者確保のためのパンフレットの作成、新農業人フェア等での相談窓口の設置、教育機関と連携した懇談会の開催 ・新・農業人フェア(8/28、6名相談)、農大生と地域農業関係者等との懇談会開催([盛岡]7/29、3名、[八幡平]8/4、8名) (ウ) 新規就農者の早期経営安定に向けた課題解決支援や地域の先進農家と連携した技術指導の実施 ・地域の先進農家と連携した技術指導(3件)、[盛岡]農業青年と農業農村指導士との意見交換会(7/5)、[八幡平]新規就農者 支援チーム会議各市町ごとに開催(5～9月 八幡平市1回、葛巻町2回、岩手町2回) (エ) スマート農業技術等の導入推進に向け果樹栽培における野外搬送用ロボット実証試験及び実演会の開催【広域】 ・屋外搬送用ロボット(TakiRoboG1)実証試験1回目(9/14、紫波町)、現地見学会(9/16、紫波町、12名)(6③イ再掲) (オ) 多様な働き手の確保に向けた福祉施設等と連携した労力確保の取組支援、研修会の開催 ・農福連携の取組聞き取り調査(7/5、紫波町)</p> <p>ウ 女性農業者の活躍促進</p> <p>(ア) 若手女性農業者の経営参画を推進する研修会・交流会の開催 ・若手女性農業者の経営参画を推進する研修会・交流会の開催([盛岡]9/7、[広域]9/21) (イ) 経営力の向上や高付加価値化に取り組む女性グループ活動を支援 ・女性グループの活動計画作成と実践支援(4～9月、2グループ) (ウ) 関係機関と連携した家族経営協定締結の推進 ・関係機関との情報共有と家族経営協定締結支援(2件)</p>	<p>(ア) ○</p> <p>(イ) ○</p> <p>(ウ) ○</p> <p>(エ) ○</p> <p>(オ) ○</p> <p>(ア) ○</p> <p>(イ) ○</p> <p>(ウ) ○</p>	
	<p>・銀河のしずく作付面積 H30:1,037ha →R1:1,138ha→R2:1,145ha→R3:1,111ha →R4:1,250ha(AP目標値)</p> <p>・低コスト・省力技術の導入経営体数 H30:ー →R1:2経営体 →R2:4経営体→R3:6経営体 →R4:8経営体(AP目標値)</p>	<p>② 生産性・市場性の高い産地づくり</p> <p>ア 水田フル活用による産地力向上</p> <p>(ア) 「銀河のしずく」の高品質安定生産技術の定着に向けた生産者マイスターの認定及び生産者研修会の開催、消費拡大PR【広域】 ・「銀河のしずく生産者マイスター」の認定(21名)、研修会開催(7/12、50名) (イ) 水稲の低コスト・省力化技術導入に向けた自動水管理システムの実証展示と成果の普及【広域】【新規】 ・自動水管理システムの設置(WATARAS(2カ所(4/28))、ファーモ(3カ所(6月))、実証試験(7/27～8/5)、研修会開催(7/12、50名)【再掲】 (ウ) 水田への園芸等高収益作物(加工用たまねぎ、にんにく、ズッキーニ)の導入・拡大に向けた栽培技術指導等の実施 [たまねぎ]巡回による栽培技術指導(随時)、秋まき用播種指導(8/24) [にんにく]2法人栽培管理状況確認と収穫見込み判定(6月)、八幡平バイオレット一般栽培者向け出荷目揃会、栽培講習会(9/2、18名) [ズッキーニ]指導会における栽培技術指導(4/19、6/1、7/5、8/4)、栽培管理状況確認(随時) (エ) 小麦の収量向上につながる土壌改良技術の普及推進 ・小麦指導会等における土壌改良資材の資料提供(4/20、6/23、9/2)</p>	<p>(ア) ○</p> <p>(イ) ○</p> <p>(ウ) ○</p> <p>(エ) ○</p>	

令和4年度 盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料3

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和4年度の主な取組実績(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	<ul style="list-style-type: none"> 販売額3,000万円以上園芸農家戸数 H30:28戸 → R1:34戸 → R2:36戸 → R3:38戸 → R4:32戸 (AP目標値) 環境制御技術、ICT等革新的技術の導入経営体数 H30:3経営体 → R1:6経営体 → R2:7経営体 → R3:8経営体 → R4:9経営体 (AP目標値) 主な農産物の輸出額 H30:31,610千円 → R1:34,466千円 → R2:19,402千円 → R3:21,710千円 → R4:36,000千円 (AP目標値) 	<p>イ 園芸の収益性向上</p> <p>(ア) 関係機関と連携した大規模園芸経営体の育成や産地拡大実践プランの実行支援及びGAP等導入による経営管理高度化支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねぎ振興に係る関係機関との情報共有(5月、9月)、GAP普及拡大に係る担当者会議(7/20) (イ) りんどう自動選別機実用性実証、検討会開催、研修会開催【地経費】【新規】 ・サンプル撮影、データ収集開始(6/13～、半促成作型)、(7/14～、露地作型の極早生、早生、中生、晩生)、機械の動作等に係るメーカーとの協議(4～8月、各1回) (ウ) 盛岡地域環境制御技術研究会会員を対象とした研修会の開催、高度な環境制御技術導入経営体に対する個別指導の強化 <p>【地経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地研修会の開催〔第1回〕9/5、ミニトマト、ほうれんそう、38名、〔第2回〕9/29、きゅうり、16名)、重点経営体への個別指導(6経営体:トマト2戸、ミニトマト2戸、キュウリ、イチゴ) (エ) 土地利用型野菜のスマート農業技術の普及・導入支援 ・岩手町スマート農業研究会総会において今年度の活動計画等確認(6/3)、キャベツ自動収穫機実演会開催支援(6/30) (オ) JALいわて中央と連携した海外物産展でのPRやパンフレット等の作成支援 ・輸出PR事業の内容検討(6/15)、パンフレット作成(11月予定) 	<p>(ア) ○</p> <p>(イ) ○</p> <p>(ウ) ○</p> <p>(エ) ○</p> <p>(オ) ○</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> 1戸当たり飼養頭数(肉用繁殖雌牛) H30:8.3頭 → R1:8.5 → R2:8.5頭 → R3:8.5頭 → R4:10.0頭 (APの目標値) 1戸当たり飼養頭数(経産牛) H30:31.2頭 → R1:31.7 → R2:31.6頭 → R3:33.5頭 → R4:35.9頭 (APの目標値) 外部預託施設利用頭数 H30:2,118頭 → R1:2,281 → R2:2,222頭 → R3:2,102頭 → R4:2,360頭 (APの目標値) 	<p>ウ 畜産の収益性向上</p> <p>(ア) 補助事業等の活用による規模拡大支援、サポートチームによる規模拡大経営体への総合的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模拡大を目指す経営体の計画作成支援(2戸)、サポートチームによる規模拡大経営体への総合的支援(14戸、7～9月) (イ) 補助事業の活用による畜舎や草地・飼料畑等の基盤整備 ・事業実施スケジュールや課題に関する対応協議(4/6、6/9)、工程会議開催(7/20、8/2、8/30)、播種完了(8月)、付帯工事(進入路工事)完了(9月) (ウ) 肉用牛・酪農経営体の経営発展に向けた技術支援 ・畜産クラスター協議会に係る市町担当者会議の開催(6/2)、畜産クラスター計画変更に係る指導助言(5～9月) (エ) スマート農業技術(ファームノートカラー)の実証展示と成果の普及推進 ・実証試験開始(7/1～、97頭(肉用繁殖82頭、乳用育成15頭)にセンサー装着中) (オ) 八幡平市繁殖・育成センターの運営支援の強化、飼養管理作業の省力化につながる技術(TMR給与技術)の実証【地経費】 ・運営会議開催による課題等の検討(5/20、6/17、7/25、8/22、9/20)、開所式(9/1)、TMR給与の有用性について説明(6/9、13名) (カ) 公共牧場の機能強化に向けICT技術(うしみる)の実証展示【地経費】【新規】 ・実証試験(6/24～9月) <p>エ 家畜伝染病対策、野生鳥獣被害対策</p> <p>(ア) 養豚経営者、関係市町、団体を対象とした豚熱(CSF)・アフリカ豚熱(ASF)対策研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養豚農場35戸中20戸、養鶏農場67戸中58戸の農場巡回を実施し、飼養衛生管理基準の順守状況を確認 (イ) 関係機関との連携による特定家畜伝染病(高病原性鳥インフルエンザ、豚熱、アフリカ豚熱)発生時の対応訓練の実施 ・研修会及び訓練実施に向けた打合せ(7/28) (ウ) 地域全体での野生鳥獣被害防止対策の取組支援と盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会と連携した研修会の開催 ・地域全体での被害防止対策の取組支援(3地区(盛岡、雫石、紫波)、6～9月) 	<p>(ア) ○</p> <p>(イ) ○</p> <p>(ウ) ○</p> <p>(エ) ○</p> <p>(オ) ○</p> <p>(カ) ○</p> <p>(ア) ○</p> <p>(イ) ○</p> <p>(ウ) ○</p>	

令和4年度 盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料3

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和4年度の主な取組実績(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	<p>・水田整備面積 H30:1,201ha→R1:1,239ha →R2:1,265ha→R3:1,317ha →R4:1,337ha(AP目標値)</p> <p>・農村地域の防災・減災対策施設数(累計) H30:0箇所 →R1:0 →R2:0 →R3:0箇所 →R4:2箇所(AP目標値)</p> <p>・農業水利施設の長寿命化対策施設数(累計) H30:17施設 →R1:20 →R2:22 →R3:25施設 →R4:28施設(AP目標値)</p>	<p>オ 農業生産基盤の計画的な整備</p> <p>(ア) ほ場整備の推進(星山・犬吠森地区ほか5地区)【経営体育成基盤整備事業】等 ・経営体育成基盤整備事業(6地区):星山・犬吠森地区(圃場整備33.2ha、工事契約 8/10)、武道地区(暗渠排水工事仕上げ完了 (5/31))、後藤川地区(前年度発注工事18.5haの本格着工)、矢次・戸沢(測量設計業務の契約(矢次7/20、戸沢8/22))、 広宮 沢(本年度以降の予定等について各推進協議会にて説明(6/2,28))</p> <p>(イ) 農業水利施設等の計画的な整備の推進(後藤川温水路ほか7地区)【基幹水利施設ストックマネジメント事業】等 ・基幹水利施設ストックマネジメント事業(8地区):後藤川温水路、一方井ダム、第2幹線用水路、太田川(前年度発注工事の完了、太田第一(水路940mの工事契約(9/14))、彦部・佐比内(揚水機修繕の工事契約(9/29))、煙山第三排水路(水路668mの 工事契約(9/15))、松川大堰(水路413mの工事契約(8/29))</p> <p>(ウ) 農村地域の防災・減災対策の推進(岩手山麓地区ほか1地区)【農村災害対策整備事業】等 ・農村災害対策整備事業(2地区):岩手山麓(水路477mの工事契約(9/9))</p> <p>(エ) 中山間地域の基盤整備の推進(大村地区ほか1地区)【中山間地域総合整備事業】 ・中山間地域総合整備事業(2地区):大村(暗渠排水工2.2haの工事契約(9/8)、水路162m他の工事契約(9/22))、江刈 (水路34mの工事契約(9/22))</p>	<p>(ア) ○</p> <p>(イ) ○</p> <p>(ウ) ○</p> <p>(エ) ○</p>	
	<p>・「地域ビジョン」策定集落数(累計) H30:3集落 →R1:3集落 → R2:3集落 → R3:3集落 →R4:5集落(AP目標値)</p> <p>・水田における地域共同等の取組 面積割合 H30:73.0% →R1:73.1% → R2:73.8% → R3:74.5% →R4:74.3%(AP目標値)</p> <p>・主要産直の年間売上額 H30:4,963百万円 →R1:4,737百万円 → R2:4,872百万円 →R3:4,912百万円 →R4:5,431百万円(AP目標値)</p> <p>・農林漁業体験受入人数 H30:25,496人 →R1:29,211人 → R2:11,686人 →R3:10,375人 →R4:23,700人(AP目標値)</p>	<p>③ 農村の地域活動の促進</p> <p>ア 地域資源の維持保全による農村の活性化</p> <p>(ア) 中山間地域の活性化に向けた「地域ビジョン」策定予定地区への専門家派遣による合意形成支援、ビジョン策定・実践支援 ・地域ビジョン策定に向けたスケジュールや事業の活用に関する盛岡市との協議(4、5月)、いわて農業農村活性化推進 ビジョンに係る市町等の意見交換(7月、18名)</p> <p>(イ) 中山間地域等直接支払:中山間地域等における農業生産活動等の取組支援 ・申請に向けた支援(4～9月、7市町)、加算措置への取組支援(6月)、「いわて中山間賞」現地調査(9/9、岩手町)、棚田 地域振興活動加算に係る現地説明対応(9/14、紫波町)</p> <p>(ウ) 多面的機能支払:多面的機能の維持・向上に向けた共同活動の取組支援 ・事業計画審査等事務手続の支援(4～9月)、活動組織の現地指導会の実施(6組織、盛岡市:9/12、八幡平市:8/9、8/10、 岩手町:9/6)</p> <p>(エ) 環境保全型農業直接支払:地球温暖化防止や生物多様性等に効果の高い営農活動の取組支援 ・申請に向けた支援(4市町、4～9月)</p> <p>イ 農村ビジネスの振興</p> <p>(ア) 産直組織の運営体制強化・経営力強化に向けた研修会及び情報交換会の開催、集客力向上に向けた情報発信 ・産直の新商品開発や食品表示に係る個別支援(2組織、4～8月)、先進事例視察研修会(10/27)</p> <p>(イ) 個別ニーズに応じた6次産業化等の計画策定・実行支援、スキルアップに向けた研修会・情報交換会の開催 ・産直の新商品開発に係る個別支援(2組織、4～8月)【再掲】</p>	<p>(ア) ○</p> <p>(イ) ○</p> <p>(ウ) ○</p> <p>(エ) ○</p> <p>(ア) ○</p> <p>(イ) ○</p>	

令和4年度 盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料3

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和4年度の主な取組実績(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
		<p>ウ グリーン・ツーリズムの受入体制強化、郷土食文化等の情報発信</p> <p>(ア) インバウンドの受入れ拡大に向けた教育旅行や農業体験等の受け入れ態勢を強化する研修会を開催【広域】 ・インバウンド受け入れ態勢整備セミナー、食の匠料理伝承セミナーの開催(1月予定)(3④エ再掲)</p> <p>(イ) 食文化、農業・農村体験等の情報発信に向けた「食の匠」の掘り起こしと食文化伝承・発信活動の支援 ・食の匠推薦候補の掘り起こし(4～6月)、地方推薦会議の開催(7月)、県選考委員会への対応(9/9)、白ぶかし(盛岡市)、姫竹と身欠きにしんの味噌煮(八幡平市)、盛農生との「食の交流会」(6/21、生徒21名)、Facebookを活用した食文化の情報発信(4～8月、3回)</p> <p>(ウ) 農村都市交流、移住促進に向けた市町と連携した交流イベントの開催、地域の魅力アップのための植物園整備【地経費】 ・ラベンダー管理方法及び品種調査(9/6、秋田県)、ラベンダー試験ほ場、ひまわり園管理(4～9月)</p>	<p>(ア) -</p> <p>(イ) ○</p> <p>(ウ) ○</p>	
9 森林資源の循環利用促進ととうかる林業・木材産業の構築を進めます	<p>① 森林資源の循環利用及び担い手の育成・確保</p> <p>・森林経営計画認定面積 H30:48,994ha → R1:48,539ha →R2:49,118ha →R3:48,592ha → R4:52,438ha(AP目標値)</p> <p>・間伐材利用率 H30:42.0% → R1:45.4% →R2:48.6% →R3:47.0% → R4:41.0%(AP目標値)</p>	<p>① 森林資源の循環利用及び担い手の育成・確保</p> <p>ア 森林経営計画に基づく森林整備の促進</p> <p>(ア) 森林施業プランナーに対する指導を通じて、施業集約化を進め、森林経営計画作成の促進(随時) 6/2岩手町の大規模所有者(経営計画未作成)宅を訪問(普及班に同行) 森林施業プランナー勉強会を開催(5/20～6/9、計4回、4名が参加)、2名が一次試験合格。</p> <p>(イ) 森林組合及び事業体に対し、森林整備事業、森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策事業、木材産業国際競争力強化対策 事業及びいわて環境の森整備事業の活用による間伐及び再造林等の支援(随時)</p> <p>a 再造林 105.28haについて補助金交付済</p> <p>b 間伐 55.61 haについて補助金交付済</p> <p>(ウ) 県有林の経営計画に基づく除間伐等の森林整備の推進(随時) 間伐面積 131ha うち契約3件109.24ha 入札済5件5.56ha 不落1件5.56ha</p> <p>(エ) 松くい虫被害拡大防止、北上阻止に向けた樹種転換、広葉樹林化や早期駆除の支援(随時、春4～6月、秋10～12月) アカマツ林広葉樹林化実施のため、現地調査を実施。 春駆除の実施(6月20日までに完了)。 秋駆除は9月に計画概要集計表を提出。</p> <p>イ 搬出間伐の促進による間伐材の利用促進 森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策事業(間伐11件124.12ha)、木材産業国際競争力強化対策事業(間伐2件37.29ha)の交付決定を行った。</p>	○	

令和4年度 盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料3

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和4年度の主な取組実績(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	<p>・計画的な路網整備(林道)(累計) H30:828km → R1:828km →R2:829km → R3:829km → R4:830km(AP目標値)</p> <p>・山地災害防止機能が確保された集落数(累計) H30:92箇所 → R1:92箇所 →R2:92箇所 → R3:93箇所 → R4:94箇所(実績値)</p>	<p>ウ 生産基盤を強化する林道等の計画的な路網整備</p> <p>(ア) 林道事業の計画的な推進(4路線、400m) 4路線で400mを整備中。</p> <p>(イ) 新規路線計画の作成支援(随時)</p> <p>(ウ) 森林整備事業(補助金交付申請に基づくしゅん工検査実施中)、森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策事業(間伐4路線5,684m)、木材産業国際競争力強化対策事業(2路線4,040m)の交付決定を行った。</p> <p>エ 山地災害を防ぐ治山事業の計画的な推進</p> <p>(ア) 緊急性の高い地区からの計画的な治山事業の実施(5地区) 全5地区中、施行中 4地区、完成 1地区 施行中:志戸前川地区、杉沢地区、新在家地区、大明神地区 完成 :寺田地区</p> <p>(イ) 治山施設点検の実施(4月～) 進捗率77%(75施設中、58施設実施済み)</p> <p>オ 林福連携による新たな人材の確保と新技術の導入</p> <p>(ア) 盛岡地方版伐木チャンピオンシップの開催【新規】【地経費】(10月) 開催内容を一部変更し、「盛岡地区安全伐倒競技・交流会」として実施。 9/21北上川上流域森林・林業活性化センターと委託契約締結。</p> <p>(イ) 雇用者や福祉関係者の意識醸成を図るため「林福連携イーハトーブ通信」の発行(4回)【地経費】(10月～2月) 発行について保健福祉環境部と調整中。</p> <p>(ウ) 福祉関係者と連携した林業への就業の支援【地経費】(10月～2月)</p> <p>(エ) アシストスーツを林業事業体に貸し出し、モニタリングすることによる普及の促進【地経費】(10月～3月) アシストスーツ購入済。事業体への貸出準備中。</p>	○	
	<p>② 地域材の利用促進</p> <p>・店舗等の木質化支援件数 H30:— → R1:1件 → R2:2件 → R3:3件 → R4:4件(AP目標値)</p>	<p>② 地域材の利用促進</p> <p>ア 「Iwate県産木材DESIGNBOOK」の掲載事例入れ替え及び『岩手型住宅』の事例追加によるリニューアルの実施【地経費】(8月～3月) 8/5県森連と委託契約済み。現在、施工事例を収集中。</p> <p>イ 店舗やオフィス等の木質化により得られる経営上のメリット等を紹介するセミナーや施工現場の見学会の実施【新規】【地経費】(8月～3月) 7/25県森連と委託契約済み。県森連にてセミナー講師を選定し、10/11に打合せを実施。</p> <p>ウ 盛岡地域アカマツ等利用促進連絡会議の開催【地経費】(11月)</p>	○	

令和4年度 盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料3

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和4年度の主な取組実績(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	③ 原木しいたけ産地の再生 ・原木しいたけ(乾生)植菌本数 H30:426千本 →R1:365千本 →R2:343千本 →R3:集計中 → R4:446千本(AP目標値)	③ 原木しいたけ産地の再生 ア 原木コネクターによる原木増産の支援【地経費】(11月から2月) イ 傷がついた原木を使用した栽培試験の実施【地経費】(4月～3月) 盛し協役員会議(9/9開催)で、原木調達先や試験栽培をさせていただく生産者について打合せを行った。 ※盛し協:盛岡地方しいたけ生産振興協議会 ウ 高品質化を推進している生産者を講師とした勉強会の開催【新規】【地経費】 盛し協役員会議(9/9開催)で、コロナの感染状況を見ながら、3役会議で検討することとした。 エ 他の生産地の視察研修の実施【新規】【地経費】 盛し協役員会議(9/9開催)で、コロナの感染状況を見ながら、3役会議で検討することとした。 オ インターネットを活用した販路拡大の取組の支援【新規】【地経費】 盛し協役員会議(9/9開催)で、協議会のホームページ等について打合せを行った。 カ 県内・首都圏・関西地方での試食販売の実施【地経費】(10月～1月) 盛し協役員会議(9/9開催)で、今後の販促活動(対面試食販売は、未だ出来ない状況(販促活動のみ))の予定について打合せを行った。 キ 管内小中学校等の給食食材としての利用に向けた交渉の支援【新規】【地経費】 盛し協役員会議(9/9開催)で、交渉の進め方等について打合せを行った。 ク 海外との定期的な取引に向けた裨裕源との商談の支援【地経費】 盛し協役員会議(9/9開催)で、秋子の採取状況を見ながら、商談時期を検討することとした。	○	
10 地域産業の特性に 応じた産業人材の確保・育成とやりがいを持って働くことができる労働環境の整備を進めます	・学生等を対象としたキャリア教育への講師派遣件数【IT・ものづくり再掲】(件) H30:6件 →R1:9件→ R2:10件 →R3:8件→R4:7件(AP目標値) ・企業ガイドブック掲載企業数【IT・ものづくり再掲】 H30:— →R1:41社→R2:95社 →R3:176社→R4:130件(AP目標値)	① 地域産業を支える人材の育成確保【6②再掲】 ア 新卒人材と県内企業のマッチング支援及びキャリア教育支援【広域】【6②再掲】 (ア) 学生、教員等とIT関連企業の交流研修会(いわて業界研究セミナー)開催に係る関係者協議 (イ) 学生等への地域を志向したキャリア教育の実施に向けた講師選定、企業との調整【広域】 (ウ) きたかみ・かねがさきテクノ Messe(9/30)への管内高校(盛岡工業高1年241人、雫石高2年28人)参加支援(バス手配、バス代負担)【地経費】 イ ものづくり人材育成(工場見学等)【広域】【6②再掲】 ・不來方高校を対象とした出前授業実施に向けた調整(打ち合わせを計2回実施) ・紫波総合高校を対象とした工場見学実施に向けた調整(打ち合わせを計3回実施) ウ 中堅人材(経験者)のネットワークづくり【広域】【6②再掲】 ・7/7 在京盛岡広域産業人会総会・セミナー開催(主担当:盛岡市) エ 企業ガイドブックの作成【広域】【6②再掲】 (ア) 企業ガイドブックの更新、HPへの掲載済み(3月)、「シゴトバクラシバいわて」へリンク(7/15) (イ) 企業ガイドブックの作成中止 (ウ) SNSによる就職イベント等の情報発信	ア ○ イ ○ ウ ○ エ △	・企業ガイドブックは、高校生や学校において企業情報を収集するツールとして活用していないこと、雇用開発協会など他の雇用対策機関において同様のものが作成されていることから、作成を中止し、より効果的に県内企業のPRや県内就業の推進に繋がる取組にシフトしていく。

令和4年度 盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料3

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和4年度の主な取組実績(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	<p>・若年者を対象とした就職ガイダンス等の開催件数 H30:2件 →R1:1件 →R2:4件 →R3:4件 →R4:4件(AP目標値)</p>	<p>② 若年者等の就業支援と人材の確保</p> <p>ア 高卒向け就職面談会、専門学卒向け就職ガイダンスの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盛岡第二高校における就職ガイダンス実施(7/8) ・もりおか高校生就職面談会開催に係る関係者協議(8/9) <p>イ 新規高卒者の希望と適性に応じた県内事業所等への就職支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業支援員、県内就業・キャリア教育コーディネーター(CD)による新規高卒者の就職支援(応募先選定支援、面接指導等)(6月～) <p>ウ 企業訪問等による新規高卒者の職場定着支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業支援員、県内就業・キャリア教育CDによる定着支援を目的とした企業訪問255件 <p>エ 県内就業・キャリア教育CDによる企業及び学校等への情報提供【6②再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問により企業情報の収集等を行うほか、中学・専門学校・大学等から情報収集の実施(通年) <p>オ 盛岡広域8市町の高校生を対象としたインターンシップ事業への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業支援員等による管内高校への事業周知、学校の意向調査のフォローアップ ・インターンシップ事業実習事前研修への参加(7/21) ・インターンシップ事業参加生徒数:9校71人(R3実績28人)、受入企業数19社(R3実績15社) 	<p>ア ○ イ ○ ウ ○ エ ○ オ ○</p>	
	<p>・管内企業におけるいわて働き方改革運動参加事業所数(累計) H30:114社 →R1:162社 →R2:276社 →R3:444社 →R4:555社(AP目標値)</p>	<p>③ 企業における雇用・労働環境整備の促進</p> <p>ア 働き方改革の取組や労働条件の改善等について商工団体等への要請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管内商工会への雇用要請活動の実施(6/24、6/27、6/28) <p>イ 企業訪問時における働き方改革の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわて働き方改革推進運動参加事業所数365社(9月末現在、AP目標値65.7%) 	<p>ア ○ イ ○</p>	
	<p>・障がい者就業・生活支援センター支援対象者の就職率【保福再掲】 H30:13% →R1:9.4%→R2:13%(見込) →R3:17%(AP目標値)</p>	<p>④ 多様な雇用の場の確保と就労の促進</p> <p>ア 就労支援分科会への参画等を通して、事例の共有や情報交換を行い、特別支援学校等の生徒の支援に活用(随時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労支援分科会への参画、雇用担当、就業支援員、県内就業キャリア教育CD間で情報共有 	<p>ア ○</p>	
11 産業経済活動を支える交通ネットワークを整えます	<p>・道路整備事業完了工区(工区)(累計) H30:— →R1:1工区 →R2:2工区→R3:2工区 →R4:4工区(AP目標値)</p>	<p>① 物流・交流ネットワークの整備</p> <p>ア 県央圏域内外との交流を促進するネットワークの整備</p> <p>(ア) 一本木(滝沢市):道路改良工を推進(改良工事契約済み)</p> <p>(イ) 佐比内(八幡平市):(トンネル工事発注スケジュール見直し)</p> <p>(ウ) 星山(5④再掲)</p>	<p>(ア) ○ (イ) × (ウ) ○</p>	(イ)トンネル工事費が物価高騰等により想定以上に増額となったことから、トンネル工事発注計画をR5年度に見直したことによる。それに伴い、完成年度も調整中。
	<p>・復興支援道路の完了工区(工区)(累計) H30:— →R1:0工区 →R2:1工区→R3:1工区 →R4:1工区(AP目標値)</p>	<p>② 沿岸地域の復興・振興を支える道路の整備</p> <p>ア 復興支援道路の整備</p> <p>完成した道路の適切な維持管理に努める</p>	<p>ア ○</p>	

令和4年度 盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料3

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和4年度の主な取組実績(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	・救急搬送等道路完了工区(工区) (累計) H30:ー →R1:0工区 →R2:1工区→R3:2工区 →R4:3工区(AP目標値)	③ 医療機関への救急搬送ルートの整備 ア 広域的な救急搬送を支える道路整備 (ア) 一本木(11①再掲) (イ) 佐比内(11①再掲) (ウ) 徳田橋(5①再掲) イ スマートインターチェンジ及び周辺道路の整備 完成した道路の適切な維持管理に努める	(ア) ○ (イ) × (ウ) ○	(イ) (11①再掲)
12 県税の適正かつ 公平な賦課徴収を行います。	① 適正・公平な課税の推進	① 適正・公平な課税の推進		
	ア 個人事業税 定期賦課(確定申告分)…8月課税 随時課税(修正申告、更正・決定分)…資料収集月の翌月課税(要調査分は翌々月課税)	ア 個人事業税 ・定期賦課(令和3年所得に対する課税) 9月末現在の課税件数 5,770件、課税額 497,383,400円 (対前年 ▲556件、▲21,074,900円) ・随時課税(修正申告等による所得増加に対する課税) 9月末現在の課税件数 37件、課税額 627,600円 (対前年 ▲116件、▲14,301,000円)	×	台帳出力不具合、職員のコロナ感染及びBCPの実行により、調査事務が遅れが生じた。
	イ 法人三税 外形標準課税法人等の自主決定調査…R5年2月末完了(153法人368事業年度)	イ 法人三税 ・外形標準課税法人、非課税事業等を行う法人、連結申告法人について、自主決定調査を行っている。 ・9月末現在、調査計画(44法人)に対して、調査済33法人、調査中9法人、計42件と若干の遅れが生じている。	×	課税室職員のコロナ感染に伴い、期限のある業務への支援を優先したため遅れが生じた。
	ウ 不動産取得税 建築分…年内完成分は年度内課税 売買等移転分…資料収集月の翌月課税 錯誤等の要調査分…毎月調査	ウ 不動産取得税 ・建築分 処理済2,464件(対前年 + 318件) ・売買等移転分 処理済2,431件(対前年▲1,567件) ・錯誤等の要調査 処理済 2件(対前年▲ 6件)	×	管内市町から通報される資料の一部に遅れが生じたことが要因となった。
	エ 自動車税 納税通知書送達…10月末完了	エ 自動車税 要課税台数 224,976台中、224,965台課税済(調査中11台)	○	
	オ 軽油引取税 課税捕捉調査	オ 軽油引取税 軽油販売業者、地下タンク保有者、免税軽油使用者について調査を実施している。	○	

資料3

21 ページ

令和4年度 盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料3

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和4年度の主な取組実績(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
14 地域課題にチャレンジする職員を育成します	① 基本的な執務能力の向上	① 職員向け一般研修の実施 ア 仕事の進め方 局長による若手職員研修会(9/2実施)。29名参加 イ 安全管理 交通安全研修(10/6実施)	○	
	② 地域課題・行政課題等の発見、行政品質向上	② 職員のデジタル化対応の取組 ア 県自治体職員DX推進セミナー(8/3、8/24、9/20)サテライト会場設置。7名参加。 イ Zoom等のウェブ会議システムを多数の職員が主催し活用するため、担当が随時支援対応中 (タブレット端末15台を追加配備(うち2台は岩手土木センター、八幡平農業改良普及センターに1台ずつ配備))	○	
	③ 危機管理能力の向上 【4③の再掲】 ○危機管理能力研修会の参加者数 H30:実施見送り→ R1:33人→R2:9人→R3:40人→R4:40人 (AP目標値) ○高病原性鳥インフルエンザ等発生時対応研修会・訓練の参加者数 H30:147人→R1:162人→R2:37人 →R3:180人→R4:140人(AP目標値)	③ 災害担当職員向け危機管理対応研修の実施 ア 火山災害に関する研修会を11月に実施予定 【4③の再掲】 イ 高病原性鳥インフルエンザ等発生時対応研修会・訓練の開催【4③の再掲】 (ア) 新任者等研修を7月に開催。23名参加 (イ) 中央家保と調整し、机上訓練等を11月に実施 ウ 総合防災訓練実施(10/3実施)	○	
15 人と動物の共生を推進します。	・猫の引取頭数(R2年度比) R3:集計中 →R4:70% →R5:50%	人と動物の共生推進 ・第1回盛岡広域振興局管内動物の多頭飼育問題に係る社会福祉部所等関係機関連絡会議開催(7/28、22名出席) ・「社会福祉と動物愛護を考える研修会」の開催に向け、講師等関係者と内容について調整 内容:講演(成城大学 打越教授)、意見交換等 ・R3年度に作成した多頭飼育問題・動物愛護に係るチラシを社会福祉部所等関係機関連絡会議を開催する際、市町や団体に提供し、活用するよう依頼	○	